

令和2年 第2回

区づくり推進横浜市会議員会議

会議資料



中 区

区づくり推進横浜市会議員会議

目 次

議 題

1 令和2年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業執行計画について

(1) 令和2年度中区個性ある区づくり推進費予算・・・・・・・・・・ P 1～2

(2) 令和2年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業執行計画・・・ P 3～32

安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり

子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり

多文化共生のまちづくり

地域の活力があふれるまちづくり

地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり

<参 考>

中区に係る予算のすがた（令和2年度一般会計予算）・・・・・・・・ P 33～34

2 その他

令和2年度 中区個性ある区づくり推進費予算

1 2年度予算の基本的な考え方

中区運営方針においては、「誰もが安心と活力を実感するまち中区 ～住んでよし、働いてよし、訪れてよし～」を基本目標としています。2年度予算については、この運営方針の基本目標達成に向けた次の5つの施策に基づき編成し、横浜市役所の移転や横浜文化体育館の再整備などのまちの変化、東京2020オリンピック・パラリンピックを見据えた活気づくりを進めます。

- 【施策1】 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり
(「防災」「防犯」「環境美化」等 関連事業)
- 【施策2】 子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり
(「子ども」「高齢者」「障害者」「健康」等 関連事業)
- 【施策3】 多文化共生のまちづくり
(「多文化」等 関連事業)
- 【施策4】 地域の活力があふれるまちづくり
(「地域まちづくり」「地域活動」「スポーツ」等 関連事業)
- 【施策5】 地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり
(「区民サービス向上」「広報」等 関連事業)

2 中区 個性ある区づくり推進費予算 区分別総括表

(単位:千円)

項目	2年度 A	元年度 B	増▲減 C = A - B	増減率 C / B
中区予算	585,485 (579,608)	579,182 (573,033)	6,303 (6,575)	1.1% (1.1%)
自主企画事業費	100,764 (100,255)	100,794 (100,349)	▲ 30 (▲ 94)	0.0% (▲0.1%)
統合事務費	37,619 (37,419)	37,450 (37,250)	169 (169)	0.5% (0.5%)
統合事業費	15,674 (14,762)	15,461 (14,570)	213 (192)	1.4% (1.3%)
区庁舎・区民利用 施設管理費	431,428 (427,172)	425,477 (420,864)	5,951 (6,308)	1.4% (1.5%)

※上段は事業費、下段()内は、一般財源の額を記載しています。

3 自主企画事業費で取り組む主な事業(2年度取組のポイント)

【施策1】安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり

事業名	2年度	元年度	差引
地域防災力向上事業	7,111 (7,111)	8,218 (8,218)	▲ 1,107 (▲ 1,107)
コミュニティFMであるマリンFMを活用して防災情報を効果的にラジオで発信します。 <予算減額の主な理由>防災用無線アンテナの設置業務の終了に伴う減			本文ページ 3

【施策2】子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり

事業名	2年度	元年度	差引
中なかいいネ!中区地域福祉保健計画推進事業【拡充】	6,444 (6,444)	3,142 (3,142)	3,302 (3,302)
各地区の課題や活動状況等を踏まえて、第4期計画は、誰もがわかりやすく、身近な計画となるよう住民との協働によるプロセスを重視し、策定します。			本文ページ 11
地域包括ケアシステム推進事業【拡充】	1,988 (1,988)	1,850 (1,850)	138 (138)
老人クラブへの加入促進を図るため、これまでのチラシ配布に加え、パネル展示等による活動紹介を行い、区民の老人クラブへの関心が高まるよう更なる普及啓発を進めていきます。			本文ページ 13
みんなでSTOPザ虐待【拡充】	5,520 (5,520)	4,973 (4,973)	547 (547)
ひとり親家庭や障害児に係る相談にきめ細かく対応できるよう相談体制を強化します。			本文ページ 16

【施策3】多文化共生のまちづくり

事業名	2年度	元年度	差引
多文化情報発信事業	3,801 (3,801)	4,270 (4,270)	▲ 469 (▲ 469)
多言語広報紙については、多文化理解が進むよう日本語版も作成します。 <予算減額の主な理由>転入者用ウェルカムキット作成完了に伴う減			本文ページ 18
多文化共生まちづくり事業【新規】	2,500 (2,500)	- (-)	2,500 (2,500)
外国人意識調査を新たに実施することで、外国人区民が直面する課題・ニーズを把握し、今後の政策立案等に活用します。			本文ページ 19
多文化交流事業【拡充】	7,954 (7,954)	7,404 (7,404)	550 (550)
国際交流ラウンジで取り組む地域へのヒアリングや人材育成に関する事業を拡大します。			本文ページ 20

【施策4】地域の活力があふれるまちづくり

事業名	2年度	元年度	差引
まちづくり推進事業	3,254 (2,954)	3,974 (3,674)	▲ 720 (▲ 720)
区民や来街者に中区の文化・歴史の魅力を発信するため「よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図」を改定し発行します。 <予算減額の主な理由>中区マスタープラン改定業務の終了に伴う減			本文ページ 21
スポーツ・青少年事業【拡充】	4,697 (4,697)	4,667 (4,667)	30 (30)
若年層の体力向上と豊かな感性育成のためジュニアダンスコンテストを元年度に開始しましたが、2年度もより充実して実施します			本文ページ 25

【施策5】地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり

事業名	2年度	元年度	差引
利用しやすい区役所づくり事業【拡充】	15,185 (15,185)	12,394 (12,394)	2,791 (2,791)
公益用地メリットシステム予算(約6,400万円)をあわせて活用し、区庁舎改修を進めます。			本文ページ 31

※単位：千円、下段 () 内は一般財源

令和2年度中区個性ある区づくり推進費自主企画事業執行計画

1 安全・安心で健やかに暮らせるまちづくり

事業名	事業内容
1. 地域防災力向上事業	<p>中区防災計画に基づき、地域防災力の向上を図っていきます。区民の自助・共助の意識醸成のため、コミュニティFM（マリンFM）を活用した防災情報発信等に取り組みます。また、地域防災拠点において、女性視点や多様なニーズに対応し、誰でも拠点運営ができるよう、備蓄品等の整備を進めます。あわせて、本部機能充実のため、タブレット等を活用した情報受伝達手段の充実を図っていきます。</p> <p>(1) 減災行動啓発事業 (2,960千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 地域及び企業等に対する減災支援（防災まち歩き、減災説明会） イ 中区総合防災フェア（12月12日 大栈橋ホール） ウ 絆月間における防災・減災講演会 エ 地震・風水害対策等の啓発 マリンFMを活用した防災情報の発信「中区防災通信」（毎月第2・4水曜日）【新規】 <p>(2) 災害時の担い手育成事業 (150千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 防災出前教室（減災出前講座、防災体験教室） 中学生に「地域防災拠点支援ガイド」（配布済）を活用した啓発 イ 救助資機材取扱研修 <p>(3) 防災訓練・災害対策事業 (4,001千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 防災訓練 (ア) 外部講師を招いた本部運営訓練 (イ) 情報受伝達訓練の実施 (ウ) 帰宅困難者対策訓練の実施 イ 地域防災拠点の充実・訓練の実施及び本部体制の充実・災害対策 地域防災拠点及び風水害時避難場所等の設備充実のため災害用エアマット等の導入を予定 タブレットやスマートフォン等を活用した情報受伝達手段の多重化 <p><参考>津波警報伝達システム（防災スピーカー）を活用した情報発信を継続</p>
予算額	7,111千円
所管課	総務課

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 減災行動啓発事業												
ア 地域及び企業等に対する減災支援	← 防災まち歩き・減災説明会・防災減災推進研修（自治会・町内会の支援）の実施 →											
イ 中区総合防災フェア	← 関係機関と調整 → ● 12/12 大栈橋ホール											
ウ 防災・減災講演会	← 関係機関と調整 → ●											
エ 地震・風水害対策等の啓発	← 通年 マリンFM ポスティング ● ハローよこはま → ●											
(2) 災害時の担い手育成事業												
ア 防災出前教室	← 学校と調整及び実施 →											
イ 救助資機材取扱研修	← 拠点訓練と併せて実施 →											
(3) 防災訓練・災害対策事業												
ア 防災訓練	● 本部運営訓練（風水害） ● 帰宅困難者対策訓練 ● 情報受伝達訓練 ● 本部運営訓練											
イ 地域防災拠点の充実・訓練の実施	← 拠点運営委員会との調整及び実施 →											
本部体制の充実・災害対策	← ● 本部備品整備（エアマット等） ● 災害対策連絡協議会総会 書面開催 →											

事業名		事業内容
2. 安全なまち・防犯対策推進事業		<p>「中区民暮らし安全推進協議会」を中心として、区民・事業者・警察・行政等の関係機関・団体が一体となって、高齢者を狙った振り込め詐欺の防止など、地域の実情に応じた防犯対策を推進します。</p> <p>(1) 中区民暮らし安全推進協議会支援事業 (232千円) 中区民暮らし安全推進協議会の行う防犯対策事業を支援します。 ア 総会の開催 (5月) イ 各種防犯キャンペーンの実施 (5月・10月) ウ ハローよこはまへの出店 (10月) エ 「寄席de防犯」の開催 (3年2月) オ 4警察、4防犯協会・防犯協力会、関係機関との連絡調整 地域自主防犯活動委員会の開催 (年5回)</p> <p>(2) 防犯情報配信事業 各警察署から寄せられる犯罪情報等をEメール、ホームページ、広報よこはまなどを活用して広く区民に配信します。</p> <p>(3) 中区地域防犯活動支援事業 (1,705千円) ア 実施内容：防犯活動費支援、防犯活動物品の貸与等 イ 対象団体：地区連合町内会、防犯活動団体、 市立小学校 (4月に新1年生へ防犯ブザー貸与)</p> <p>(4) 防犯教室・講座事業 (427千円) 地域や警察のほか社会貢献活動に積極的に取り組む企業等と連携し、子ども及び高齢者を対象にした防犯教室・講座を実施します。</p>
予算額	2,364千円	
所管課	地域振興課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 中区民暮らし安全推進協議会支援事業		●総会(書面表決) ↔ 防犯キャンペーン ●早期キャンペーン【中止】					↔ 防犯キャンペーン ●早期キャンペーン ↔ 安全安心旬間				●寄席de防犯(2/24)	
4署・防犯協会・区合同会議 自主防犯活動委員会		●【中止】		●		●	●ハローよこはま出店(10/11)	●		●		●
(2) 防犯情報配信事業	←安全・安心メールの配信(週1回)→											
(3) 中区地域防犯活動支援事業	←防犯ブザーの貸与(4月)、防犯物品貸与(随時)、活動費助成(上半期交付)→											
(4) 防犯教室・講座事業	←子ども向け防犯教室(保育園・学校の希望により随時)→											
											●	
											●	

事業名		事業内容
3. 放置自転車対策・交通安全啓発事業		<p>区内で多発する自転車・バイクの放置及び高齢者や自転車の交通事故の対策として、各警察署や地域等の関係団体と連携し、キャンペーン等の啓発活動を通して自転車等の放置防止と交通事故防止に取り組みます。</p> <p>(1) 放置自転車対策事業 (150千円) ア 各駅自転車等放置防止推進協議会への支援 イ 各キャンペーンへの参加 ウ 放置自転車等が多い場所への対策検討及び実施協力 エ 放置自転車等移動要望への対応</p> <p>(2) 交通安全啓発事業 (1,428千円) ア 中区交通安全対策協議会への支援 イ 中区交通安全子どもポスターコンクールの開催及び入賞作品活用 (中区交通安全対策協議会共催) (7月～) ウ スクールゾーン対策の実施 (10月～) エ 各団体への補助金交付 (5～7月) オ 交通安全シルバーリーダー連絡協議会への支援 カ 交通安全教室・交通安全運動への協力 キ 高齢者及び自転車交通事故対策会議の開催 (年2～3回) ク 保護者向け自転車マナー啓発リーフレットを保育園に配布 (4月)</p> <p><参考> (道路局区配付予算) ・放置自転車等監視業務の実施 ・スケアードストレイト (プロのスタントマンによる交通事故再現) 方式による交通安全教室の中学校での開催 (11月19日、仲尾台中)</p>
予算額	1,578千円	
所管課	地域振興課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 放置自転車対策事業												
放置自転車等監視業務 啓発物等配布	← 通年 随時 →											
各駅自転車等放置防止 推進協議会への支援	← 随時 →											
各キャンペーンへの参加	← イセザキ・モール合同パトロール (月1回、第2火曜日) →											
放置自転車等が多い場所への 対策検討及び実施協力	← 中華街クリーンアップ (年9回) 随時 →											
(2) 交通安全啓発事業												
中区交通安全対策協議会への支援	● 総会 (書面表決)					● 幹事会 ● キャンペーン		● ハローよこはま出店 (10/11)				● 幹事会
中区交通安全子ども ポスターコンクール	← 募集～審査～表彰 → 展示 → 作品活用 →											
スクールゾーン対策	← 各協議会への参加・調整 → 路面標示、電柱巻等対策 →											
各団体への補助金交付	← →											
交通安全シルバーリーダー 連絡協議会への支援		● 総会						● 養成研修	● 交通安全研修会			
交通安全教室・交通安全 運動への協力	← はまづ子交通あんぜん教室 →											

事業名		事業内容
4. ヨコハマ3R夢プラン推進事業		<p>ごみと資源の総量を平成21年度比で10%以上削減する「ヨコハマ3R夢プランの最終目標」達成に向け、区民・事業者・行政が一体となり、分別の徹底、リサイクルの推進のほか、生ごみの減量に効果的な「食品ロス（食べ残しや手つかず食品）の削減」及び「生ごみの水切り徹底」等の推進に重点的に取り組みます。</p> <p>(1) ヨコハマ3R夢プラン推進活動 (228千円) ア 区内各種イベント参加、店頭啓発、地区説明会、中区分別相談窓口 イ 庁舎内設置の資源回収BOX（小型家電、水銀含有製品等）、中図書館及び区役所のリユース文庫による減量化・資源化 ウ 中区イベント用ごみ箱貸出事業：イベント等で出されるごみの分別徹底を促すためのごみ箱の無料貸与</p> <p>(2) 中区クリーンアップDAY (590千円) 区民・事業者・ボランティア団体等による清掃活動（11月実施予定）</p> <p>(3) 美化運動支援事業 (368千円) まちの美化運動に取り組む自治会や団体等の活動を支援</p> <p>(4) まちの美化対策事業 (650千円) ア 繁華街の美化対策である中華街クリーンアップ（9回）や学校と連携した放課後クリーンアップ等の実施 イ 区内で意見・要望が寄せられる不法投棄場所の改善対策 ウ 外国人向けの啓発（チラシ作成、施設見学会、分別講座）</p> <p>(5) 3R夢推進大会 (350千円) まちの美化推進に貢献した個人・団体への区長感謝状の贈呈及び講演会の開催</p> <p>(6) 温暖化対策事業 (150千円) 打ち水キャンペーンや打ち水用具を無料貸与</p>
予算額	2,336千円	
所管課	地域振興課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
(1) ヨコハマ3R夢プラン推進活動			● 簡易包装・水切り推進キャンペーン	● 多文化フェスタ	● 山下会子どもフェスタ	● 減量・資源化キャンペーン	● 多文化フェスタ ● ハローよこはま	● エコイセガキ				● なかくっ子フェスティバル	
(2) 中区クリーンアップDAY								● 調整・準備	● 開催				
(3) 美化運動支援事業		● 本牧埠頭統一清掃【中止】		● 日本列島クリーン大作戦				● 本牧埠頭統一清掃	● クリスマスクリーンアップ				
(4) まちの美化対策事業 (中華街クリーンアップ9回)	● 【中止】	● 【中止】	● 喫煙禁止地区啓発	●					● 喫煙禁止地区啓発				
(5) 3R夢推進大会												● 表彰式	
(6) 温暖化対策事業													

事業名		事業内容
5. 初黄・日ノ出町地域再生まちづくり事業		<p>中区は、地域の環境浄化を進めるため、自主的な活動を行っている協議会に対して活動補助やまちづくりNPO法人を通じた支援を行っています。</p> <p>なお、都市整備局は、小規模店舗の借上げやまちづくりの推進、文化観光局は現代アートを通じた賑わいづくり、市民局は環境浄化・地域防犯力向上を目的とした活動の支援を行っており、中区は関係局と連携しながら取組を進めています。</p> <p>環境浄化が進む一方、新たな住民の増加により、過去の事実やまちの安全安心に対する認識が薄れる恐れもあり、予断を許さない状況です。まちの活性化には、更なる活動の参画者・担い手を増やしていくことが重要です。地区内外の方々が参加しやすいよう、地域に係わる団体だけでなく、アーティスト・学生等とも連携し、子どもや高齢者関連の取組、大岡川の活用など、各テーマに沿ったまちづくり活動が活発化しています。このような活動に係る協議会等への支援も通じ、魅力あるまちの形成を目指します。</p> <p>(1) 初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会活動に対する補助 (500千円)</p> <p>ア 各部会による活動の実施 (防犯パトロール毎月ほか)</p> <p>イ 地域防犯拠点の運用</p> <p>ウ 協議会定例会等の開催 (毎月)</p> <p>(2) 地域活動を支える運営組織の強化 (1,500千円)</p> <p>ア 協議会活動の企画、運営手法の検討支援</p> <p>イ 協議会等の活動に係る関係団体・機関との連絡調整、連携支援</p>
予算額	2,000千円	
所管課	区政推進課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会活動に対する補助			補助金交付 ●		●		●			●		
(2) 地域活動を支える運営組織の強化	← 地域組織支援 →											
(参考) 初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会及び地区内における主な活動	← 定例会等の開催、まちづくりニュースの発行(隔月)、防犯パトロール(毎月27日) →											
	総会 (5/28書面開催) ●				打ち水イベント ●		はつこひトーク ●		防災炊出し ●			
			〔 黄金町バザール2020 ※日程調整中 〕									

事業名		事業内容
6. 花いっぱい明るいまち事業		<p>本事業では、主にごみの不法投棄や違法駐輪が問題となっている場所に、区民（町内会、ハマロードサポーター、公園愛護会など）と協働で花壇やプランターを設置し、花を植えることで不法投棄等をされにくくするための環境整備等に取り組みます。また、夏場の省エネ対策として、公共施設等に花緑のカーテンを設置し、緑化の普及啓発を行います。</p> <p>また、来年度のオリンピック・パラリンピックに向けて、開港広場公園で課題となっている違法駐輪等を改善するためのプランター花壇の設置や既存花壇の植栽整理を行います。</p> <p>(1) 花いっぱい環境対策・省エネ対策（550千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 花苗提供 1,800株 イ 花壇・プランター設置・維持管理 10か所 実施予定箇所 本牧埠頭交番前、山下町公園、花咲町、打越橋、柏葉公園、西の橋、山手駅、長者町、黄金町、竹之丸保育園 ウ 種まきイベント（春・秋） 5か所 実施予定箇所 錦保育園、山手保育園、不動下保育園、ばんびーな保育園、中華保育園 エ 花緑のカーテン設置 4か所 実施予定箇所 山手保育園、訓盲学院、本牧小学校、中土木事務所 <p>(2) 普及啓発（50千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 園芸講習会 2回（年） 概要 6月 春季園芸講習会 3年10月 秋季園芸講習会 参加予定者数各25人 <p>(3) イベントおもてなし（650千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ア イベント対応型花壇設置 （違法駐輪改善プランター花壇設置：開港広場公園）
予算額	1,250千円	
所管課	中土木事務所	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 花いっぱい環境対策・省エネ対策												
ア 花苗提供			←	→				←	→			
イ 花壇・プランター設置・維持管理			花苗800株 花壇・プランター設置7箇所	花苗200株				花苗800株 花壇・プランター設置3箇所				
ウ 種まきイベント	←	→				←	→					
エ 花緑のカーテン設置			種まきイベント（春） 5箇所				種まきイベント（秋） 5箇所					
			←	→								
			花緑のカーテン設置4箇所 （山手保育園、訓盲学院、本牧小学校、中土木事務所）									
(2) 普及啓発												
ア 園芸講習会			●				●					
			春季園芸講習会 （寄せ植え講習会）				秋季園芸講習会 （内容未定）					
(3) イベントおもてなし												
ア イベント対応型花壇設置				←	→							
				開港広場公園	植樹～維持管理							

事業名		事業内容
7. 食の安全・安心事業		<p>食品取扱施設に対する効率的かつ効果的な監視指導の実施と、従事者や消費者に対する衛生教育・情報発信の充実により、食中毒の発生件数を抑えるとともに、発生した食中毒の拡大・再発を防止します。</p> <p>(1) 食品取扱施設の衛生確保事業 (695千円)</p> <p>ア 食品取扱施設の衛生対策</p> <p>(ア) 効果的・効率的な監視指導 中華街や区内のホテル、宴会場、社会福祉施設等に対し、迅速検査を併用した監視指導や、多言語チラシを活用した啓発等を実施します。</p> <p>(イ) イベントでの食品提供に対する衛生指導 赤レンガ倉庫や大さん橋等で開催される食品が提供される大規模イベントの主催者や出店者に対し、衛生的取扱いの指導等を行います。</p> <p>イ 社会福祉施設等への食中毒等予防支援 保育園や高齢者施設等の給食施設等に対し、ノロウイルスによる食中毒・感染症や食品アレルギー事故防止対策を中心に、立入点検や助言を行うとともに、講習会等を通じて食中毒予防を支援します。</p> <p>(2) 食の安全に関する情報発信事業 (510千円)</p> <p>ア 食品衛生講習会等 消費者や食品取扱者に対して、食の安全に関する食品衛生講習会を開催するとともに、自治会や町内会向けに広報等により食中毒予防の注意喚起を行います。</p> <p>イ パネル展 区役所本館、別館庁舎内等にて食中毒予防パネル展を実施します。</p> <p>ウ 食中毒予防キャンペーン 消費者を対象とした食中毒予防のイベントをハローよこはまで開催します。(飛鳥II及びイセザキモールにおけるイベントは中止予定)</p>
予算額	1,205千円	
所管課	生活衛生課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 食品取扱施設の衛生確保												
ア 食品取扱施設の衛生対策												
(ア) 効果的・効率的な監視指導												
(イ) イベントでの食品提供に対する衛生指導												
イ 社会福祉施設等への食中毒等予防支援												
(2) 食の安全に関する情報発信												
ア 食品衛生講習会												
イ パネル展												
ウ 食中毒予防キャンペーン												
・食中毒予防パレード												
・飛鳥II 船内探検												
・ハローよこはま (元気フェスタ)												

事業名		事業内容
8. 動物適正飼育推進事業		<p>ペットの排泄物の不適切な処理や放し飼いなどへの苦情が多数寄せられていることから、適正飼育を啓発し、事故やトラブルを防止します。</p> <p>災害時のペット対策については、地域防災拠点の関係者を中心に災害時ペット対策の必要性を啓発し、特に飼い主に対しては日頃の準備を中心に啓発を実施します。</p> <p>また、地域防災拠点における同行避難を前提とした災害時のペット対策の検討やルール作りを支援します。</p> <p>(1) 動物適正飼育推進事業 (397千円)</p> <p>ア 狂犬病予防注射出張会場において、獣医師会と連携して、犬の飼主に啓発を実施します。(4月)</p> <p>イ ハローよこはまなどのイベントに参加し、獣医師会や動物適正飼育推進員等と連携して、来場者に啓発を実施します。</p> <p>ウ 放し飼い等の苦情が多く寄せられている大規模公園等において、施設の管理者や動物適正飼育推進員と連携して、散歩中の飼い主に対して啓発、指導を実施します。</p> <p>エ 飼い主向けの講習会を開催し、動物の適正な飼い方の知識の普及を行います。</p> <p>(2) 災害時ペット対策推進事業 (418千円)</p> <p>ア ペットの飼い主や防災拠点関係者等を対象に講習会を開催し、災害時ペット対策の普及を図ります。</p> <p>イ 各地域防災拠点の拠点訓練時に、災害時ペット対策に関する啓発を提案し、同行避難に関する展示やペット同行避難訓練の実施等を支援します。</p> <p>ウ ペット同行避難の検討活動のモデル拠点として取り組んだ大鳥小学校地域防災拠点や他の拠点での検討成果である同行避難のルールやペット受入態勢に必要な資材を、これから検討に取り組もうとする他の拠点の参考として活用できるように拡げていきます。</p>
予算額	815千円	
所管課	生活衛生課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 動物適正飼育推進事業												
ア 予防注射会場での啓発	中止											
イ イベント会場での啓発						●	●	●		●		
ウ 大規模公園での啓発・指導							(10/11) 巡回指導の実施					
エ 適正飼育講習会開催											●	
(2) 災害時ペット対策推進事業												
ア 災害時ペット対策講習会開催												●
イ 地域防災拠点に対する普及啓発												
ウ 地域防災拠点における検討支援												

2 子どもから高齢者までともに支え合うまちづくり

事業名		事業内容
1. 中なかいいネ！ 中区地域福祉保健 計画推進事業		<p>誰もが安心して暮らせるまちにするために、地域が主体となり、生活課題等の解決に取り組めるよう3年度から始まる第4期中区地域福祉保健計画を住民との協働で策定し、地域の福祉保健に関する活動を推進します。</p> <p>(1) 第4期計画(3年度から7年度)の策定(5,065千円)【拡充】</p> <p>ア 区域計画と地区別計画の策定 13地区それぞれの特色に応じた地区別計画を策定します。区域計画は、区内で共通する課題や地域と行政で協働で取り組む内容とし、11月に区民意見募集をし、策定します。</p> <p>イ 計画冊子の作成 区民にわかりやすいデザインの全体版と地区別計画版を作成します。</p> <p>ウ 計画策定に住民参画を促す啓発 地域ケアプラザ等で地域活動を周知するパネルや計画策定をPRするグッズ等を作成します。また、国際交流ラウンジと連携して外国人に向けた周知をします。</p> <p>(2) 第3期計画の推進(1,379千円)</p> <p>ア 中なかいいネ！推進会議の運営 学識者の助言を得て、区推進会議や地区別推進会議を効果的に運営します。</p> <p>イ 地域支援チームによる13地区の支援 区社会福祉協議会、地域ケアプラザとの連携により、各地区の計画の取組を支援します。また、地域支援従事者向け研修を実施します。</p> <p>ウ 計画推進のための普及啓発 計画の推進状況を周知するための発表会の開催と通信を発行します。また、のぼり旗等を作成し、地域活動を周知します。</p>
予算額	6,444千円	
所管課	福祉保健課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 第4期計画の策定	<p>← 区域計画の策定 (4月～12月)</p> <p>← 地区別計画の策定 (10月～12月)</p> <p>← 地区別推進会議 (10月～12月)</p> <p>← 地域ケアプラザでの周知月間 (10月～12月)</p> <p>← 区推進会議(3回予定) (10月～12月)</p> <p>← 区民意見募集 (11月)</p> <p>← 市内プロジェクト (5月～7月)</p>											
(2) 第3期計画の推進	<p>← 学識者と検討 (4月～12月)</p> <p>● 5/13・14地域支援合同研修(書面開催) (5月)</p> <p>● 地域支援従事者向け研修 (10月)</p> <p>● 中なかいいネ！発表会 (2月)</p> <p>● 広報なか区版特集 (4月)</p> <p>● 中なかいいネ！通信発行 (7月)</p> <p>● 中なかいいネ！通信発行 (10月)</p> <p>● 中なかいいネ！通信発行 (2月)</p>											

事業名		事業内容
2. 健康アシスト事業		<p>運動や栄養等の健康に関する啓発を実施し、地域等と協働でウォーキング等の区民の健康づくり活動の支援や環境づくりを展開します。</p> <p>(1) 健康ナビゲーション事業 (1,083千円) 体組成計や血管年齢測定等の健康測定機器を活用し、4か月健診に来庁する若い世代や、地域の中老年世代をターゲットに出張講座を開催する等、生活習慣病予防の大切さや効果を認識するきっかけを作ります。町内会等への出張講座には保健活動推進員の協力を得て実施します。保健活動推進員を対象に健康測定機器取扱研修を開催します。</p> <p>(2) てくてくウォーキング事業 (220千円) 子育て支援拠点と連携した若い世代へのウォーキング啓発と、保健活動推進員と協働で実施する地区ウォーキング等を開催します。</p> <p>(3) 中区健康づくり月間事業 (元気フェスタ21) (250千円) 医師会、歯科医師会、薬剤師会等の関係機関と連携し健康増進に向けた啓発活動を実施します。(ハローよこはまと同時開催)</p> <p>(4) けんしん啓発事業 (200千円) 保健活動推進員等の関係団体と連携し、がん検診や特定健診の受診啓発を行います。</p> <p>(5) 妊娠糖尿病対策事業 (119千円) 妊娠糖尿病の罹患率に対し健康教育を実施します。</p> <p>(6) 食育推進事業 (1,032千円) 【拡充】 ア 年代別の個別食事相談や講座、食育イベントや講演会(兼食育従事者向け研修)の開催 イ 食育従事者向け研修(兼講演会)、食育ネットワーク会議開催 ウ 関係団体が共通で使用できる食育啓発グッズの作成</p>
予算額	2,904千円	
所管課	福祉保健課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1)健康ナビゲーション事業			● 機器取扱研修				● 4か月児健診(月2回)及び町内会等への出張講座(随時)					
(2)てくてくウォーキング事業		6/19養育者向け講座【中止】					● 保健活動推進員・区民ウォーキング講座					
(3)元気フェスタ21事業					← 開催準備 →		● 10/11実施	● 実行委員会				
(4)けんしん啓発事業		6/30実行委員会					● 各種事業で配布					
(5)妊娠糖尿病対策事業			● 7/3講座						● 12/4講座			
(6)食育推進事業												
ア 食育推進												
イ 従事者支援		6/3食育マルシェ【中止】					● 10/29大人の食育講座			● 広報特集	● 2/8講演会兼従事者研修	● 3/19親子向け
ウ 食育啓発グッズの作成												● ネットワーク会議

事業名		事業内容
3. 地域包括ケアシステム推進事業		<p>「横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた中区行動指針」に基づき、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、高齢者の地域交流促進、地域での介護予防活動推進や認知症にやさしい地域づくりに取り組み、支え合い助け合うまちづくりを進めます。</p> <p>(1) 高齢者の地域交流促進 (1,188千円) 【拡充】 老人クラブの活動充実や加入促進に向け、老人クラブの各種行事を支援するほか、これまでのチラシ配布に加え、区民向けにパネル展示等による活動紹介を行い、老人クラブへの関心を高めます。また、銭湯を会場としたイベントを実施し、公衆浴場が地域の交流・介護予防活動の場となるよう支援します。 9月の敬老月間に区内特別養護老人ホームを訪問し祝品を贈ります。</p> <p>(2) 介護予防事業 (220千円) コグニサイズの普及啓発物品の作成・配布をし、区民が介護予防に取り組むきっかけづくりをしていきます。</p> <p>(3) 認知症支援 (580千円) 認知症高齢者等の介護者を支援するため、臨床心理士による個別相談を実施します。また、臨床心理士による地域包括支援センター職員向けの研修会を実施し、地域で介護者を効果的に支援できる体制を整備します。さらに、認知症にやさしい地域づくりのため、認知症サポーター企業等認証を実施し、認証事業所の取組を区ホームページで紹介します。</p> <p><参考> (健康福祉局区配付予算) 平成30年3月に策定した「横浜型地域包括ケアシステム構築に向けた中区行動指針」について、「第8期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定に合わせ、より具体的な取組や指標を盛り込んだ「区アクションプラン」として見直します(4年度予定)。</p>
予算額	1,988千円	
所管課	高齢・障害支援課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 高齢者の地域交流促進 ・老人クラブの行事支援 ・チラシ配布・パネル展示等 ・デイ銭湯事業 ・敬老月間			●			●	●					●
	ふれあい運動会(中止)				老人福祉大会		ゲランドゴルフ			ルディックウォーキング(4回)		
	←				内容検討・作成				→ 配布・展示			
(2) 介護予防事業		●				●						
	←		グッズ作成		→		関連イベント・介護予防グループ等で普及啓発グッズ配布					
(3) 認知症支援 ・介護者相談 ・研修会の開催 ・企業等認証			●	●								
	←						臨床心理士による介護者個別相談					
	←						※予定 (3回目については開催時期検討中)					
	←						新規認証、認証企業の中区HPでの紹介					

事業名		事業内容
4. 障害児・者ネットワーク支援事業		<p>障害のある人が、その人らしく住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らし続けられるよう区内の関係機関が連携して支援できる体制を作ります。</p> <p>(1) 関係機関連携推進事業 (540千円) 相談体制の充実、関係機関の連携強化、地域での支え合い体制づくりのため、多様な関係機関・当事者から構成される自立支援協議会を中心とした支援体制の充実を図ります。 ア 自立支援協議会の開催 イ 支援者のスキルアップや連携強化を目的とする研修会の開催</p> <p>(2) ポレポレグッズ推進事業 (150千円) ポレポレグッズ (障害者作業所製品) の販売活動を推進し、障害者の生きがい創出と社会参加を支援します。 ア 中区障害者団体連絡会販路拡大委員会に事業運営費を補助 イ 販路拡大委員会、ナカナ・カフェ運営委員会開催支援 (各6回) ウ 区役所内定期販売会の支援 (12回)</p> <p>(3) 障害理解推進事業 (270千円) 「共生社会の実現」 (障害者差別解消法) に向け障害に対する理解を促進するため、地域社会に対する働きかけを積極的に行っていきます。 ア 啓発用うちわ、チラシ等の作成及びイベント等での配布 イ 公共交通機関における啓発ポスターの掲示及び放映 ウ 地域の団体や地域防災拠点訓練での出前講座</p>
予算額	960千円	
所管課	高齢・障害支援課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 関係機関連携推進事業	(4月及び5月は会議中止)											
ア 自立支援協議会の開催	← 事務局会議(毎月)・代表者会議(5月中止)・合同担当者会議(3月)・5専門部会23回・2分科会5回 →											
イ 研修会の開催				●		●	●	●	●	●		●
・全体研修				●		●						
・部会研修							●	●	●	●		●
(2) ポレポレグッズ推進事業												
ア 補助金の交付	●											
イ 販路拡大委員会		●		●		●		●		●		●
ナカナ・カフェ運営委員会	●			●		●		●		●		●
ウ 区役所内定期販売会	← 4月から6月まで中止、以降毎月 (11月は合同販売会として作業所のパネル展示と同時実施) →											
(3) 障害理解推進事業												
ア うちわの作成・うちわとチラシの配布	← うちわ、チラシ作成 →						← チラシ、うちわをイベント等で配布 →					
イ 公共交通機関でのチラシ掲示(デジタルサイネージ)									●			
ウ 出前講座						●						

事業名		事業内容
5. みんなで子育て事業		<p>子育て中の方が身近な地域で安心して子育てできるとともに、乳幼児期の子どもが豊かな体験や学びを積み重ねていけるよう、区内の保育所等の資源や特性を活かして、地域での子育て支援を推進します。学校、家庭、地域、行政が連携しながら、地域全体で子育てのできる環境づくりを支援します。</p> <p>(1) グランマ保育園 (2,525千円) 区内の保育所・横浜保育室等において、絵本貸出・施設開放・育児相談・一時保育など、在園児以外も含めたすべての乳幼児期の子どもが利用できる子育て支援の取組を行います。また、公立園では育児支援ルームの開放や「親子の保育体験」を行います。</p> <p>(2) 「おでかけスポットマップ」の作成 (1,344千円) 【拡充】 「おでかけスポットマップ (日本語版)」を引き続き作成するほか、新たに専門ソフトを導入し、ホームページ上で多言語対応をします。</p> <p>(3) 外遊び応援事業 (100千円) 体験を通じて子どもとの遊び方や関わり方を知り、子育ての仲間づくりができるよう、身近な公園での外遊びの機会を作ります。</p> <p>(4) 保護者向け保育所等情報提供 (339千円) 「中区保育所等のしおり」を作成し、区役所や保育所、地域ケアプラザ等で配布するとともに、開港記念会館で保育所等利用申請説明会を10月に開催し、利用申請の方法や各保育園の情報、様々な保育サービス、保育園での過ごし方等を紹介します。</p> <p>(5) 外国人向け両親教室等 (591千円) 【新規】 外国につながる区民が安心して子育てできる環境づくりのため、在住者の多い、中国語を母語とする方向けの母親教室を2回実施します。</p> <p><参考> (こども青少年局区配付予算) ・「はじめまして幼稚園～中区幼稚園説明会～」の実施 ・「中区保育園駅伝大会～チューリップ杯～」の開催</p>
予算額	4,899千円	
所管課	こども家庭支援課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) グランマ保育園	各園での事業実施、赤ちゃん訪問・乳幼児健診等での事業周知、未実施園への依頼(通年)											
(2) おでかけスポットマップ	アンケート集計		○日本語版(令和3年度版)		情報収集			情報整理		作成		印刷
	○多言語化		システム、契約関係等調整			委託発注			完成			
(3) 外遊び応援事業		第1回 ● 中止	第2回 ●				第3回 ●	第4回 ●				第5回 ●
(4) 保護者向け保育所等情報提供 ・中区保育所等利用のしおり ・保育所等利用申請説明会				原稿作成			印刷					
(5) 外国人向け両親教室				チラシ作成		広報		第1回 ●	開催			第2回 ●

事業名		事業内容
6. みんなでSTOP ザ虐待		<p>安心して子育てができるよう地域での見守り力づくりを推進します。また、保護者が相談しやすい環境を整えるとともに、育児力を高める場や仲間づくりの場を提供します。</p> <p>(1) 地域の見守り力アップ事業 (281千円) 児童虐待防止のため子育て中の親及び子育て関係者向けの講演会を実施します。また、支援者のスキルアップを目的としてスーパーバイズを活用した事例検討会を実施します。</p> <p>(2) 赤ちゃん学級 (432千円) 初めての子育てを安心してスタートできるように、第1子の養育者を対象に、身近な地域で仲間づくりや子育ての知識を学ぶことのできる教室を開催します。</p> <p>(3) 乳幼児健診の充実 (1,796千円) 乳幼児健診について、きょうだい児連れや外国籍の方が受診しやすい環境を整えます。また、未受診の家庭に対して家庭訪問等により情報提供を行います。</p> <p>(4) 乳幼児のいる養育者を対象とした育児教室等 (530千円) 支援が必要な乳幼児を持つ養育者が具体的な育児方法を学ぶことのできる教室を開催します。</p> <p>(5) ひとり親家庭等に対する相談支援の強化 (1,479千円) 【拡充】 ひとり親家庭及び障害児業務の事務に来庁する機会をとらえて、きめ細やかに生活状況を聞き取り課題やニーズに沿った支援を行うなど相談支援体制を強化します。</p> <p>(6) 学齢期家庭向け支援強化プログラム (1,002千円) 生活困窮や養育困難等の課題を抱える家庭の児童自身が、生活スキルを身につけるきっかけとなるプログラムを実施します。</p> <p><参考> 児童虐待対策において地域関係機関連携の要となる要保護児童対策地域協議会実務者会議、区と児童相談所による要保護児童等進行管理台帳登載ケースの支援方針等の検討を定期的実施しています。</p>
予算額	5,520千円	
所管課	こども家庭支援課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 地域の見守り力アップ事業				● スーパーバイズ (弁護士)		● 支援者 全体向け研修		● 親向け講演会	● スーパー バイズ (心理)	● スーパー バイズ (弁護士)		● スーパー バイズ (心理)
(2) 赤ちゃん学級	● 中止	● 中止	●	●		●	●	●		●	●	●
(3) 乳幼児健診の充実	← 中止 →											
(4) 乳幼児のいる養育者を対象とした育児教室等	← 中止 →											
(5) ひとり親家庭等に対する相談支援の強化	← 児童扶養手当現況届受付前の聞き取りポイントの整理、受付時の相談対応、不足書類等の提出依頼 →											
(6) 学齢期家庭向け支援強化プログラム	← 窓口相談・手続き時の相談対応の強化 →											
<<参考>> 要保護児童等対策事業			● 実務者会議① 進行管理①		● こども支援プログラム			● 進行管理②			● 進行管理③	● 実務者 会議②

事業名		事業内容
7. 子ども食堂支援事業		<p>子どもの孤立を防ぎ、地域で子どもの成長を見守る場を増やすために子ども食堂ネットワークを支援し、子ども食堂を地域や子どもに関わる機関等に周知していきます。</p> <p>(1) 子ども食堂ネットワーク連絡会 (70千円) 活動者間の情報共有と子どもに関わる地域関係者と連携を推進するために区社会福祉協議会とともに連絡会 (2回程度) を開催します。</p> <p>(2) 子ども食堂の周知のためのリーフレット作成 (180千円) 子ども食堂の開催趣旨や活動内容を子どもと子どもに関わる地域関係者に周知するためのリーフレットを子ども食堂ネットワークのメンバーと協働で作成します。</p> <p>(3) 地域で子どもを見守る活動を増やすための講演会 (50千円) 子どもの孤立を防ぎ、地域で子どもを見守るための活動や子どもを含めた多世代交流の場が増えるよう区民向けの講演会を開催します。</p>
予算額	300千円	
所管課	福祉保健課 こども家庭支援課 生活支援課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) ネットワーク連絡会			● 中止		← 2回程度開催 →							
(2) リーフレット作成						● 作業部会	← リーフレット作成 →					
(3) 講演会									← 1回開催 (時期・方法検討) →			

3 多文化共生のまちづくり

事業名		事業内容
1. 多文化情報発信事業		<p>人口の1割強を占める外国人住民に対して広報紙やホームページ等により、わかりやすく行政・地域情報を伝えます。</p> <p>(1) 多言語広報紙発行事業 (2,721千円) 【拡充】 中区在住の外国人住民に役立つ生活情報、行政情報等を掲載した多言語広報紙「Naka Ward Town News」(英語)と「春夏秋冬」(中国語)を発行します。 また、2年度春号より日本語版を新たに発行し、外国人住民が必要としている情報を日本人住民に共有することで、多文化共生への理解を深めます。 【発行回数及び発行数】 年4回(英語4,100部、中国語4,400部、日本語1,000部)</p> <p>(2) 多言語ホームページ運営事業 (1,080千円) 英語、中国語、ハングル、やさしい日本語のホームページを月1回作成します。特集(広報よこはま・なか区版からの抜粋)、生活情報、イベント情報等を掲載し、タイムリーな情報提供に努めます。</p>
予算額	3,801千円	
所管課	区政推進課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 多言語広報紙発行事業	● 編集 発行 (春号)	→	● 編集 発行 (夏号)	→	● 編集 発行 (秋号)	→	● 編集 発行 (冬号)	→	● 編集 発行 (冬号)	→		
				※新型コロナウイルスの影響により休刊予定								
(2) 多言語ホームページ運営事業	← ホームページ運営 (通年) →											

事業名		事業内容
3. 多文化交流事業		<p>なか国際交流ラウンジを拠点に、地域や外国人コミュニティ、各団体、学校等との連携を図り、外国人の支援や多文化共生の地域づくりを進めます。</p> <p>(1) 地域連携・人材育成事業 (3,415千円) 【拡充】 2年度は対象地域を拡大してヒアリング等を行い、情報収集やボランティアの活躍の場の発掘など地域との連携を図ります。また、外国ルーツの若者の生活面や学習面の相談・支援を行う居場所を作るとともに、ボランティア育成研修等を実施します。</p> <p>(2) 日本語学習支援事業 (1,580千円) ア 日本語教室開催 (年度後半・30回程度) 日本語教室受講者へのごみ分別講習・防災講習等 イ 日本語ボランティア養成事業 (区内ボランティア教室と連携) 日本語ボランティアの入門講座 (全8回程度) ブラッシュアップ講座 (全4回程度) ウ ボランティア日本語教室連絡会の開催 (年2回)</p> <p>(3) 多文化交流・多文化理解事業 (790千円) ア 多文化共生理解事業の実施 (年3回) イ 多文化フェスタ開催 (9月・開港記念会館)</p> <p>(4) 多文化共生ボランティア活用事業 (800千円) 自治会・町内会イベント等での通訳協力やチラシ翻訳等を実施</p> <p>(5) 区が発信する簡易な案内等の翻訳の実施 (415千円) 各課が発信する情報の迅速な多言語化のため翻訳を実施</p> <p>(6) その他運営・事務費等 (954千円)</p>
予算額	7,954千円	<p><参考>ラウンジ機能強化として、地域連携・人材育成事業における地域連携を図るためのコーディネーターの配置について、国際局からの区配予算あり (5,000千円・地方創生推進交付金 (国費))。</p>
所管課	地域振興課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 地域連携・人材育成事業	← 地域連携・外国につながる若者の人材育成・居場所づくり 【通年】 →											
(2) 日本語学習支援事業	日本語教室開催 【期間調整中】											
	● 防災講習等 ● ごみ分別講習											
(3) 多文化交流・多文化理解事業	ブラッシュアップ講座 (全4回程度) 入門講座 (全8回程度)											
	● 日本語教室連絡会 ● 日本語教室連絡会											
(4) 多文化共生ボランティア活用事業	● 多文化フェスタ ● 多文化理解事業 ● 多文化理解事業											
	← 地域等への派遣・通訳、サポート、ボランティア募集、登録 【通年】 →											
(5) 区が発信する簡易な案内等の翻訳の実施	● 工場見学派遣 ● 地域防災訓練派遣											
	← 庁内の案内等の翻訳実施 【通年】 →											

4 地域の活力があふれるまちづくり

事業名	事業内容
1. まちづくり推進事業	<p>中区は、住宅環境、商業、港、観光、文化芸術、国際性など多様な魅力を有する横浜の中心であり、オリンピック開催等で更なる注目が集まります。安心して生活し、働き、訪れたいくなる中区の実現を目指したまちづくりを進めます。</p> <p>今後のまちづくりの基本方針となる改定「都市計画マスタープラン中区プラン」を区民と共有するとともに、区民や団体が自主的に行うまちづくり活動に対して、迅速で細やかな対応や支援を行います。また、関内・関外エリアをはじめ、まちの回遊性の向上を目指した取組を進めます。</p> <p>(1) まちづくり対応事業 (2,020千円) ア 中区プラン概要版を作成し、広く市民に周知します。 イ 区民が「まち」や「川」など中区への愛着を深めるため、大岡川及び周辺地域を対象エリアとして、エリアの歴史や魅力を伝える取組を進めます。</p> <p>(2) 地域まちづくり活性化事業 (334千円) ア 地域でまちづくり活動を行う区民や団体に対し、ルール・プラン策定や策定後の運用等の支援を実施します。 イ 地震火災対策として、関係局と連携し、燃えにくいまち・燃え広がらないまちの実現に向けた取組を進めます。</p> <p>(3) 魅力マップ活用事業 (900千円) 【拡充】 まち歩きや小中学生の校外学習向けに配布している「よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図」について、新たな碑の設置やまちの開発状況を反映し、第7版を作成します。</p>
予算額	3,254千円
所管課	区政推進課

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) まちづくり対応事業	<p>中区プラン概要版作成・配布</p> <p>概要版作成 → 印刷 → 概要版配布(まちづくり団体等)</p> <p>中区プラン冊子配布(通年)</p>											
まち・川の魅力再発見	<p>企画検討・実施 ※コロナの影響により実施内容・時期等について調整中</p>											
(2) 地域まちづくり活性化事業	<p>まちづくり活動支援(定例会への参加等)</p>											
(3) 魅力マップ活用事業	<p>現地確認 → 版下更新デザイン委託</p> <p>碑もとく絵地図配布(通年)</p> <p>外国語版周知(通年)</p>											

事業名		事業内容
2. 地域連携推進事業		<p>平成30年度から地域の更なる活性化に向けてキーパーソンを中心としたヒアリング調査を実施した結果、本牧エリアは地域活動が活発なだけでなく、人材・資源が豊富であること、地域性が強いながらもテーマによっては地縁を超えた連携が現れていることが分かりました。</p> <p>広域に連携した活動に地域主体で取り組むには、地域の活動や人材、資源に関する「地域情報」が地域間で共有され、地域間の緩やかなつながりを創出することが重要です。</p> <p>そこで2年度は、広域な情報発信機能を持つ横浜マリンFMや人材が集える場を持つコミュニティカフェHOMMOKU BASEが、「地域情報」の集約・発信拠点、地域課題の発掘や解決に向けた活動拠点となるよう、支援していきます。あわせて、特に若い人材の発掘・育成についても積極的に支援します。</p> <p>今後も、本牧というエリアの個性・特性を生かした地域主体の取組に対して、引き続き支援をしていきます。</p> <p><参考>ヒアリング結果のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の活動・人材・資源に関する情報を、集約・発信する機能が必要 ・それぞれの取組（テーマ）をつなげる「緩やかなつながり」が望ましい ・中区の他のエリアとは異なる、本牧の個性・特性を意識することが重要
予算額	1,000千円	
所管課	地域振興課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地域情報の集約・発信 拠点づくり		委託仕様の調整・決定				コーディネーターの派遣						

事業名		事業内容
3. 自治会町内会活動支援事業		<p>市民と協働して活力あるまちづくりを進めるため、地域コミュニティの中核である自治会町内会との連携と協力関係を深めます。また、18区中17位となっている加入率（平成31年4月1日現在63.2%）の維持・向上を目指すとともに、暮らしやすいまちづくりに取り組む自治会町内会の活動を支援します。</p> <p>(1) 自治会町内会加入促進（338千円） 自治会町内会が配布する加入促進チラシの作成支援、転入者への加入申込書の配布等、加入促進に取り組みます。また、新規建築マンション・未加入マンションの管理組合に働きかけるなど、新たな自治会町内会設立・加入への動きを支援します。</p> <p>(2) 掲示板整備補助事業（1,600千円） 地域住民の福祉の向上、連帯の促進、災害情報提供を目的とし、自治会町内会が行う掲示板の整備について、その経費の一部を補助します。</p> <p>(3) 自治会町内会長感謝会（860千円） 市政及び区政に多大なご協力をいただいていると同時に、地域社会のリーダーとして活動する自治会町内会長に感謝の意を表すため、感謝会を開催します。また、永年勤続の会長に対し、市長表彰の報告及び区長表彰を行います。</p> <p>(4) 自治会町内会活動支援（45千円） 自治会町内会実務担当者向け研修会の開催、自治会町内会と行政との連絡調整（区連会定例会運営等）及び補助金交付事務（補助制度の説明、申請方法等）等を通じ、自治会町内会の活動を支援します。</p>
予算額	2,843千円	
所管課	地域振興課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 自治会町内会加入促進 加入促進支援	← 主に新築マンション、転入者等を対象とした加入促進支援 →											
(2) 掲示板整備補助事業 町内会掲示板整備補助事業	← 申請書受理 → ← 審査・決定、請求書受理、補助金支出（随時） →											
(3) 自治会町内会長感謝会	← 通知・調整・準備 → ●											
(4) 自治会町内会活動支援 補助金交付事務	← 申請書受理 → ← 審査・決定・補助金交付 →											
中区連合町内会長連絡協議会定例会	● (資料送付)	● (資料送付)	● 6/19	● 7/17		● 9/18	● 10/19	● 11/19		● 1/19	● 2/19	● 3/19
中区連合町内会長連絡協議会企画委員会	● (書面表決)		●	●								
自治会町内会長等研修会・実務研修会	● 実務研修会 (資料送付)							● 研修会				

事業名	事業内容
4. 商店街魅力アップ事業	<p>地域社会の発展に貢献してきた中区の商店街が、さらに魅力を増し賑わうことを目指すとともに、商店街の課題を地域の課題としてとらえ、商店街活性化に向けた支援を行います。</p> <p>(1) 商店街広報活動事業 (900千円) 区内にある商店街の魅力を紹介する映像を作成して、区役所待合スペース、YouTube 等を活用したPRを行います。</p> <p>(2) よこはまウォーキングポイント歩数計アプリを活用した集客支援 商店街をPRし集客を支援するため、「よこはまウォーキングポイント事業」と連携し、歩数計アプリを活用した事業を継続します。</p> <p>(3) ハローよこはまへの商店街ブース出店 (600千円) ハローよこはまの会場に設けられた商店街エリアに、区内商店街がブースを出店する支援を行います。</p> <p><参考> (経済局区配付予算) ・商店街活性化イベント補助金：商店街等の活性化イベントに対して、1団体25万円を上限に補助を行います。</p>
予算額	1,500千円
所管課	地域振興課

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
(1) 商店街広報活動事業			← 企画検討・調整 →				← コンテツツ作成 →				← 広報PR →		
(2) よこはまウォーキングポイント歩数計アプリを活用した集客支援			← 企画検討・調整 →							← イベント実施 広報PR →			
(3) ハローよこはまへの商店街ブース出店	● 商店街へ案内 (資料送付)		● 募集	← 出店調整 →			● 出店 (10/11)						
<参考：経済局区配付予算> 商店街活性化イベント事業補助金	● 商店街へ案内 (資料送付)		← 交付申請書 受理・審査 →				← 事業報告書 受理・審査 →				← 交付確定 →		← 請求書受理 補助金交付 →
				← 第1回 交付決定 →				← 第2回 交付決定 →					

事業名		事業内容
5. スポーツ・青少年事業		<p>地域のスポーツ振興や青少年の健全育成、また区民の健康づくりに寄与するため、地域の関連団体と連携して事業展開していきます。また、ラグビーワールドカップ2019™を契機としたラグビー教室の開催や、東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成に取り組みます。</p> <p>(1) 区民スポーツ促進事業 (2,080千円)</p> <p>ア 区体育協会活動支援事業 各種スポーツ団体が加盟する区体協へ事業費を補助</p> <p>イ 健康づくり推進事業 ・ラジオ体操普及事業の実施 ・ランニングクリニックの実施 (3年1月～3月)</p> <p>ウ 大規模スポーツイベントを契機とした関連事業 ・ラグビーワールドカップ：小学生ラグビー教室の開催 ・オリパラ：スタンプラリーイベントの実施</p> <p>(2) 青少年育成事業 (822千円)</p> <p>ア 地域青少年育成団体支援事業 地域で青少年育成に関する取組を行う団体に、事業費を補助</p> <p>イ 青少年の交流促進 なかくっ子クルーズ (6月) 小学生フットサル大会 (3年3月ほか)</p> <p>(3) ウォークラリー推進事業 (445千円) 街並再発見と健康づくりを目的に地域団体 (青少年指導員・スポーツ推進委員) が主体となり開催 (6月)</p> <p>(4) 中区ジュニアダンスステージ事業 (1,350千円) 青少年が仲間とともに日頃の練習成果を披露する、オールジャンルのダンスイベントを実施</p> <p><参考> (市民局区配付予算) オリンピックによるキッズベースボールクリニックの実施 (500千円)</p>
予算額	4,697千円	
所管課	地域振興課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
区体育協会活動支援事業		● 総会		← 後援名義事務		● 事務室移転(9月)	← 広報掲載、補助金等運営支援		← 屋外・屋内施設優先利用調整			
健康づくり推進事業		● ラジオ体操研修会(中止)		← ラジオ体操指導員派遣							← ランニングクリニック	
大規模スポーツイベントを契機とした関連事業	● スタンプラリー企画委員会				← スタンプラリー実施				● 小学生ラグビー教室	● スタンプラリー企画委員会(反省会)		
地域青少年育成団体支援事業							補助金事務(随時)					
青少年の交流促進			● なかくっ子クルーズ(中止)								● ENEOS杯 YCC&ACフットサル大会	● サル大会
ウォークラリー推進事業		← 参加者募集	● 実施(6/14)(中止)					● 第1回検討委員会		● 第2回検討委員会		
中区ジュニアダンスステージ事業	● 業者決定			← 参加者募集		● 大会実施(9/12)						

事業名		事業内容
6. 区民活動支援事業		<p>地域課題への取組や文化振興を図ることを目的として、市民活動・生涯学習・文化活動等を支援します。街の先生の登録など地域で活動する人材の発掘及び育成を促進します。また、地域団体や民間事業者等により構成された「中区読書活動推進連絡会」を中心に、中区全体で読書活動を推進するとともに、横浜市民読書活動推進目標更新に伴い、中区読書活動推進目標の更新を検討します。</p> <p>(1) 区民活動支援事業（区民活動センター）（2,165千円）</p> <p>ア 区民利用施設・活動団体と連携した人材育成・市民活動支援事業 なか区民活動センター祭り（中区民祭りと同時開催）、街の先生活用・PR事業、中区民利用施設スタンプラリー（8月～9月）、登録団体との連携講座、なかく活動ガイド及びダイジェスト版発行等</p> <p>イ 情報提供・発信事業 情報誌の発行（隔月発行） 区民利用施設のチラシを一括発送する広報支援（月2回）</p> <p>(2) 生涯学習事業（220千円） 地域課題解決のための地域で活躍する人材育成講座 保育ボランティア育成講座</p> <p>(3) 読書活動推進事業（267千円）</p> <p>ア 読書関連施設の連携 読書活動推進連絡会（年3回）及び「なか区ブックフェスタ」の開催（10月～11月予定）</p> <p>イ 読書啓発イベントの開催 ハローよこはまへの出展（10月） 読書関連イベントの開催（10月～11月）</p> <p>(4) その他（130千円） 文化活動支援事業として協力・共催・後援事業の支援</p>
予算額	2,782千円	
所管課	地域振興課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 区民活動支援事業 (なか区民活動センター)		団体支援講座●		団体との共催講座(年4～5回)								
ア 人材育成・市民活動支援事業	街の先生ガイドPRパネル展			写真・絵画展			読書推進事業●					活動ガイド発行●
イ 情報提供・発信事業				街の先生活用・PR動画配信・PR事業(年8回程度)								情報誌
			センター祭運営委員会				センター祭り●	区民利用施設ネットワーク会議●			区民利用施設ネットワーク会議●	
			スタンプラリー運営委員会	区民利用施設スタンプラリー			区民利用施設スタンプラリー	区民利用施設ヒアリング				
				情報収集・登録、相談、ちらしまとめ発送								
	情報誌発行●		情報誌発行●	情報誌発行●			情報誌発行●	情報誌発行●	情報誌発行●			
(2) 生涯学習事業								タウンピクニック●	タウンピクニック●			人材育成講座●
								保育ボランティア養成講座●				
(3) 読書活動推進事業								なか区ブックフェスタ				
ア 読書関連施設の連携			読書活動推進連絡会●				読書活動推進連絡会●	読書活動推進連絡会●				
イ 読書啓発イベントの開催							ハローよこはまへの出展●					
								関係団体との連携イベントの開催●				
(4) 文化活動支援									ハマのJACK●			
									アンサンブル山手パロッコ●			本牧ジャズ祭●

事業名		事業内容
8. ハローよこはま 2020		<p>「子どもや青少年の創造性育成」「さまざまな世代による交流」「国際都市横浜としての多文化共生」「スポーツや文化活動の振興」及び「区民団体等の活動発表機会の充実」を目的として、中区民祭り「ハローよこはま」を開催します。</p> <p>開催にあたっては、区内在住者・在勤者・在学者が広く自主的に参加できる、区民主体のイベントとすることで、区民同士の新たなつながりに寄与します。また、区内外の企業とも連携し、開催を通して中区の魅力や活力を広く発信することで、区外からの来街者も楽しめる、賑わいあるイベントとします。</p> <p>(1) 開催日・会場 ア 日程：10月11日（日）荒天中止 イ 会場：横浜公園・日本大通り・象の鼻パーク</p> <p>(2) 実施内容（予定） ア 子ども・地球環境・福祉・防災等をテーマに、区民団体及び企業等によるブース展開（約130店） イ ステージでの区民団体等による活動発表（約30団体） ウ 市施策との連携 エ 来場者へのプレゼント企画（ビジターカード、抽選会等） オ 来場者アンケートの実施</p> <p>※ 保健・衛生・医療に関するテーマによる「元気フェスタ21」を同時開催予定</p>
予算額	2,925千円	
所管課	地域振興課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ハローよこはまの開催			← 企画検討・契約・広報など →				●開催					
記録集の作成										← 作成・配布 →		

事業名		事業内容
9. 都市間交流事業		<p>国内外の他都市と官民一体となって交流を進め、中区の魅力を発信することで、横浜のシティプロモーションの推進、災害時の相互支援、地域経済の活性化及び他都市との比較による中区の魅力再発見・ふるさと意識の醸成につなげます。</p> <p>(1) 埼玉県飯能市 (644千円) : 友好交流協定 (平成26年3月締結) 鉄道5社相互直通 (平成25年3月) 1周年を契機に協定締結。両市の鉄道会社・商工会議所を含めた6団体からなる友好交流協議会を発足し、イベント交流事業等での相互PR・誘客に取り組んでいます。 昨年に引き続きダイナミック周年事業として、飯能市の方を対象とした中区へのツアーを予定していますが、新型コロナウイルスの影響により、実施の可否について協議会で検討しています。</p> <p>(2) 群馬県嬬恋村 (155千円) : 友好交流協定 (平成28年2月締結) 嬬恋村出身で横浜開港期に活躍した中居屋重兵衛氏の顕彰行事を契機に、相互の更なる友好関係の発展を目指し、友好交流協定を締結。 2年は、中居屋重兵衛氏生誕200年のため、つまごい祭り (7月)、ハローよこはま (10月) 等を活用した相互PRや広報によるプロモーションに取り組みます。</p> <p>(3) 岩手県釜石市 (80千円) : 友好交流協定 (平成26年3月締結) 当区職員有志が釜石市の復興支援を行う「横浜支援隊」の活動を契機に、友好交流協定を締結。引き続き状況に応じた支援を実施します。</p> <p>(4) 仁川広域市中区 (121千円) : 友好交流協定 (平成22年3月締結) 本市と仁川広域市とのパートナー都市協定締結を契機に、区同士の友好交流協定を締結。引き続き協定に基づき事業を推進します。</p>
予算額	1,000千円	
所管課	総務課 区政推進課 地域振興課	

執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 埼玉県飯能市		第1回協議会 (書面開催)		第2回協議会			第3回協議会		横浜ツアー (11/22/予定 実施見直しを検討中)		第4回協議会	代表者 会議
・友好交流協議会 (年4回) ・代表者会議 (年1回)		●		●			●		●		●	●
・ダイナミック周年事業								●				
・両都市でのイベント相互PR							● ハロー よこはま (10/11)	● 飯能まつり (11/8)				
(2) 群馬県嬬恋村		中居屋重兵衛生誕200 年記念式典・講演会 (5/31) ⇒延期		つまごい祭り (7/25)			● ハローよこはま (10/11)					● 三塔の日 (3月上旬)
・両都市でのイベント相互PR		●		●			●					●
・PRチラシの印刷、配布												
・両都市での広報相互PR		← 広報連携 (「広報つまごい」配布毎月1回、中区HPとのリンク) 通年 →										
(3) 岩手県釜石市												
相互交流								●				
(4) 仁川広域市中区												
ビデオメッセージの送付						●						

5 地域に寄り添い、ともに行動する区役所づくり

事業名	事業内容
1. 人材育成推進事業	<p>市民の視点に立った行政サービスの提供を行うため、職員の区民サービスへの意識向上を図ります。</p> <p>(1) CS・ES向上事業 (420千円) 各課長をリーダーに、係長、職員がサブリーダーとなり職場内でCS向上の取組を推進するとともに、職員参加型プロジェクトの実施や人材育成研修を実施し、職員満足度の向上 (ES向上) を目指します。</p> <p>(2) 人権啓発事業 (580千円) 人権が尊重される社会を目指し、区民や区内企業を対象にした人権啓発講演会を開催します。また、職員の人権意識の向上を図るため、職員研修を継続して実施します。 ア 中区人権啓発講演会の開催 (3年2月25日実施予定) イ 人権啓発研修の実施 (5月～1月実施予定)</p> <p><参考>区内で実施予定の主な職員対象研修 係長昇任試験セミナー、窓口トラブル対応研修、会計経理基礎研修、中区結核研修、地域支援従事者研修等</p>
予算額	1,000千円
所管課	総務課

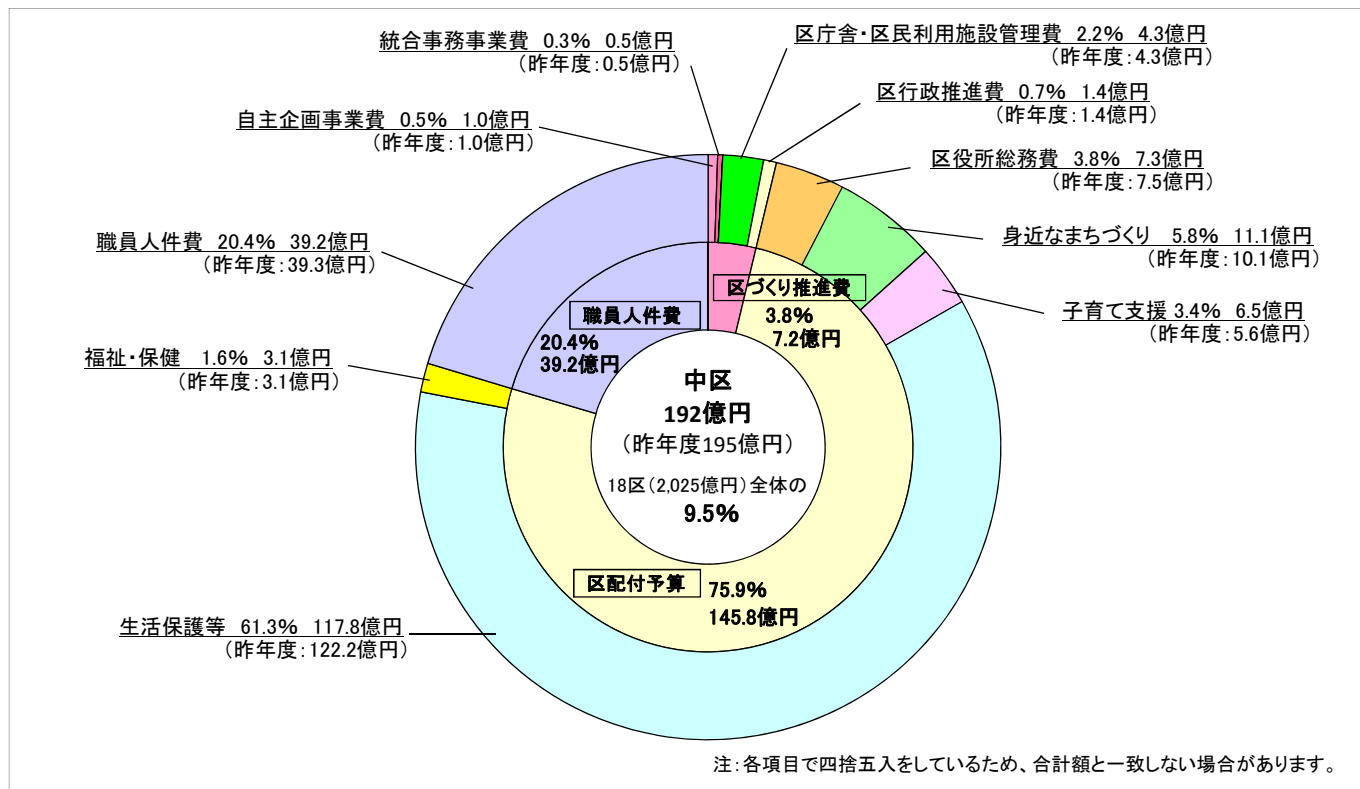
執行計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) CS・ES向上事業				●					●			●
CS事業				CSリーダー・サブリーダー研修					相互点検週間			最終報告会
ES事業 (職員参加型プロジェクト)	← PJ募集	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
人材育成研修	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
				職員研修(会計経理基礎研修・係長昇任試験セミナー等)の実施							職員表彰の実施	
(2) 人権啓発事業	●										●	
	推進委員会										人権啓発講演会	
	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
							職員研修					

<参考>

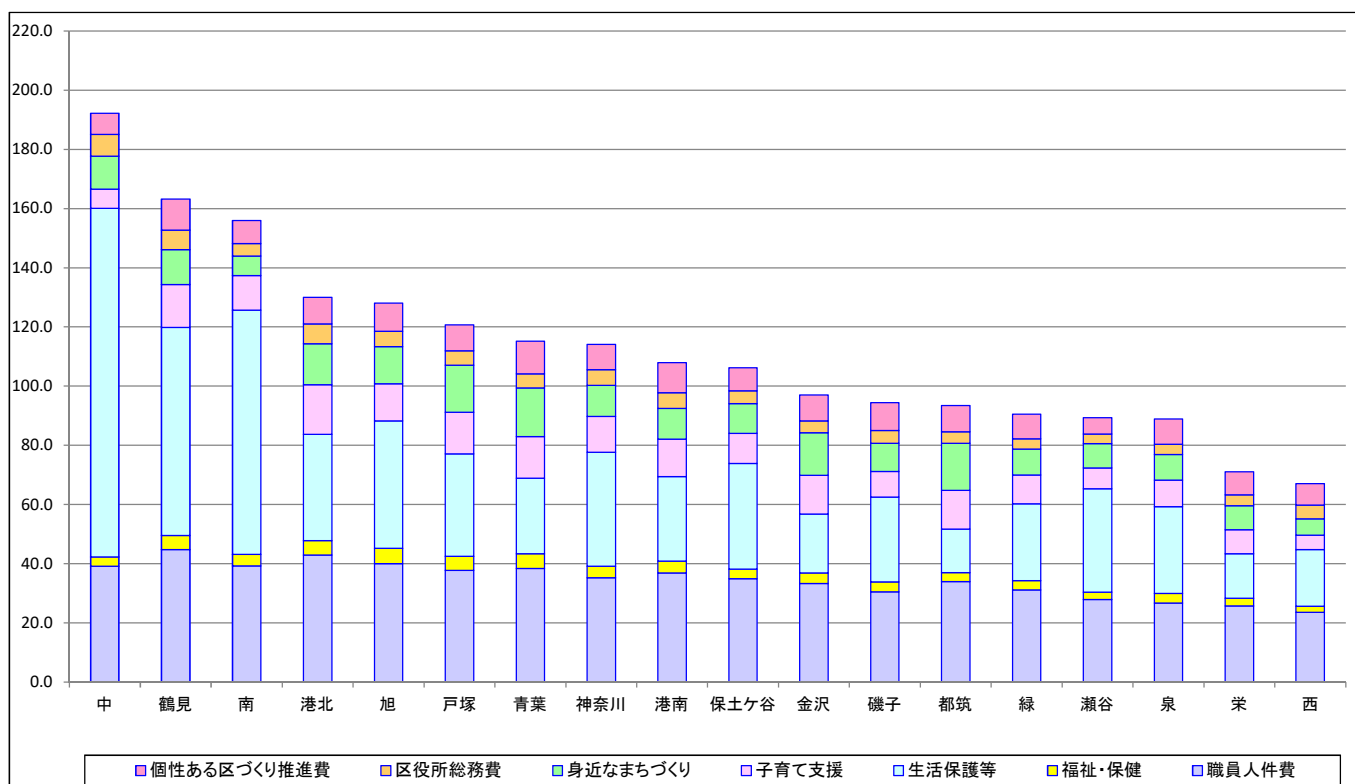
中区に係る予算のすがた（令和2年度一般会計予算）

個性ある区づくり推進費や区配付予算、人件費が含まれる一般会計のうち、中区に係る予算について、次のグラフに特徴を示しました（特別会計、公営企業会計は除いています）。

グラフ1 中区予算額の内訳



グラフ2 各区予算額の概況



主 な 事 業 内 容

(単位:百万円)

分類	予算	説明
個性ある区づくり推進費	723	区の裁量や創意工夫に基づき自律編成する予算
自主企画事業費	101	地域の身近な課題やニーズに、迅速かつ、きめ細かく対応するための事業費です。
統合事務事業費	53	広報よこはま区版の発行や市民相談、青少年指導員等の活動、生活保護及び戸籍・住民登録等に係る経費です。
区庁舎・区民利用施設管理費	431	区庁舎や地区センターなどの区民利用施設の管理運営に係る経費です。
区行政推進費	138	会計年度任用職員人件費です。
区配付予算	14,576	局からの予算配付を受け、区が執行している予算
区役所総務費	735	(総務部が執行する予算です。)
賦課徴収費	257	市税の課税・納税に関わる償還金や還付加算金、納税通知書の作成や発送するための経費などです。
広報費	13	「広報よこはま」や「県のたより」の配布謝金など、広報・広聴に係る経費です。
統計調査費	81	各種統計調査を行うための経費です。
その他	385	戸籍住民登録の事務費、各種選挙の実施、自治会・町内会組織助成などを行います。
身近なまちづくり	1,105	(土木事務所が執行する予算です。) *下水道事業を含む 1,247 百万円
道路修繕費等	1,025	道路の修繕や交通安全施設の整備・補修などを行います。
河川維持管理費等	0	準用河川の維持管理や親水水路の維持管理などを行います。
下水道事業(※参考)	(142)	既設管の修繕や共同排水設備の受託施工などを行います。
公園管理費等	80	身近な公園の維持管理や老朽化した公園施設の改良などを行います。
子育て支援	650	(福祉保健センター等が執行する予算です。)
民間保育所運営	0	一時保育や休日保育などを実施する民間保育所の運営費です。
市立保育所運営	250	保育が必要な乳児、幼児を保育する保育所の運営費です。
放課後児童健全育成	221	放課後キッズクラブ運営委員会への補助金などです。
その他	179	小児医療費助成、児童手当・児童扶養手当の支給などを行います。
生活保護等	11,780	(福祉保健センターが執行する予算です。)
生活保護	11,752	生活困窮者に対して、国の定める基準により、その困窮の程度に応じて扶助費を支給するための経費などです。
生活困窮者自立支援	27	生活保護に至る前段階の生活困窮者に対して、国の定める基準に基づき、自立に向けた包括的な相談支援を実施するための経費などです。
福祉・保健	305	(福祉保健センターが執行する予算です。)
障害者福祉	117	身体障害児・者の身体機能を補う用具、日常生活を円滑にするための各種用具の給付・貸与を行うほか、障害状況等に合わせた住宅改造や自立支援機器の購入・取付に関わる経費の助成などを行います。
高齢者福祉	26	老人クラブへの助成や寝たきり高齢者等への日常生活用具の給付・貸与に関わる経費。介護予防型のデイサービス事業(介護保険対象外事業)などを行います。
その他	162	地域ケアプラザの管理運営経費や民生委員・児童委員の活動費の支給などを行います。
職員人件費	3,917	
職員人件費	3,917	総務局人事部労務課公表「令和2年度職員人件費予算の目安」より
合 計	19,216	(※) 下 水 道 事 業 を 含 む 19,358 百万円

※各項目で四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

※年間を通じた概ねの配付額を算出していますので、あくまでも区に係る予算の大まかな全体像を示した内容となっています。(現時点では区への配付額が未定のため、区へ配付する予定額を18区均等配分したものや按分したものも含まれています)